



全日本社会貢献団体機構(AJOSC)発行

AJOSCかわら版

♡ 平成25年度助成事業が内定

全日本社会貢献団体機構は平成25年3月12日、遊技会館大会議室において、理事15名、監事3名、常任幹事5名の参加を得て第3回理事会を開催しました。

冒頭、青松理事長から、「機構発足以来8年目を迎え我々の社会貢献活動は理解と評価が高まってきています。大震災からの復興もまだまだの状況であり、業界の経営環境も厳しい折ですが、一層の支援に当たっていききたいと思います。」との挨拶がありました。

協議の中で、平成25年度の助成事業を申請212件の中から24件、助成金総額6450万円を内定しました。都府県方面組合との共同助成については4月12日締切で申請を受け付けたと



第3回理事会の様様(3月12日)

ころ、複数の県遊協から共同助成の申し出がありました。

♡ 第8回社会貢献大賞の審査状況

第8回社会貢献大賞への申請数は、都府県方面部門28件、支部組合部門15件、組合員ホール部門32件とほぼ昨年並みの合計75件(昨年は73件)でした。

申請のあった社会貢献活動について、平成25年3月19日の予備審査で精査し、3月27日開催の第5回常任幹事会において第1次審査を行い、各部門の表彰候補を選定しました。そして、4月17日開催の社会貢献活動審査委員会にて社会

貢献大賞、各部門の最優秀賞(1件)、優秀賞(3件)を決定しました(詳細は次号)。



「第8回社会貢献大賞」の第1次審査を行った第5回常任幹事会(3月27日)